

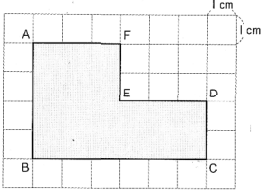
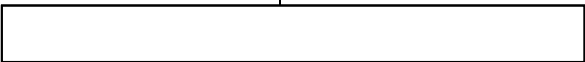
適用問題 4年 「広さを調べよう」(5/11)

(1) 目標・評価規準

本時の目標	既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、面積を求めることができる。
本時の評価規準	【考】長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、既習の長方形や正方形に分割するなどして考え、図や式を用いて説明している。

(2) 展開

(3) 展開

学 習 活 動		主な発問 (○) と 予想される児童の反応 (・)	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点
導 入 五 分	1.前時の復習 2.学習課題を知る	 <p>○今日はこのような図形の面積を求めましょう。</p> <p>○これまでの図形とどんなところが違いますか。</p> <p>・長方形でも正方形でもない。</p> <p>・線で分けたら長方形ができる。</p>		・長方形、正方形の公式を確認する。
	3.めあてを確認する。			
展 開 三 〇 分	4.自力解決する	<p>○今まで学習したことで使えることはないかな。</p> <p>○図形や式を使って考えてみましょう。</p>		<p>・計算に必要な数値を図に書き入れるよう助言する。</p> <p>・とまどっている児童には補助線を入れると長方形になることを助言する</p> <p>・早く解決できた児童には別の方法も考えさせる。</p>

5.それぞれの考え方を
発表し検討する

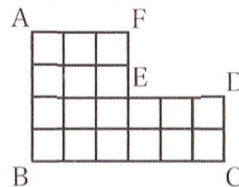
(言語活動)

ペアで確認しあう

全体で確認しあう

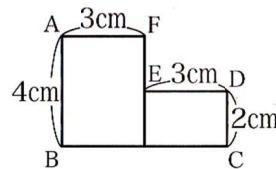
○どのように考えたか発表しよう。

①マス目法



答え 18cm^2

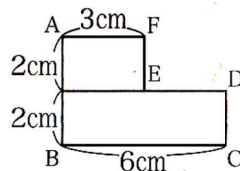
②縦わけ法



$$4 \times 3 = 12 \quad 2 \times 3 = 6$$

$$12 + 6 = 18 \quad \text{答え } 18\text{cm}^2$$

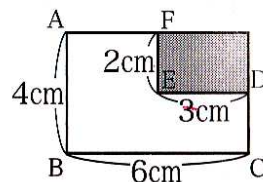
③横わけ法



$$2 \times 3 = 6 \quad 2 \times 6 = 12$$

$$6 + 12 = 18 \quad \text{答え } 18\text{cm}^2$$

④抜き取り法



$$4 \times 6 = 24 \quad 2 \times 3 = 6$$

$$24 - 6 = 18 \quad \text{答え } 18\text{cm}^2$$

⑤移動法

【考】

長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、求積方法が既習である長方形や正方形に分割するなどして考え、図や式を用いて説明している。

(発表・ノート)

・T2 と連携して児童の考えを把握する

・児童は書画カメラを使って説明を行う。
・児童から出た考えは T2 が板書する。

・それぞれの考え方に名前をつけ違いがわかるようにする。

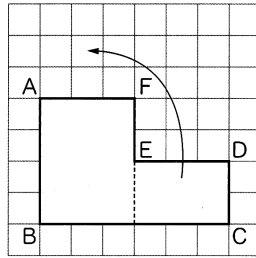
・図やことばで表された内容が、式ではどう表されているか考えさせる。

ま
と
め
一
〇
分

6.学習したことをまとめる

7.適用問題を解く

8次時の予告をする



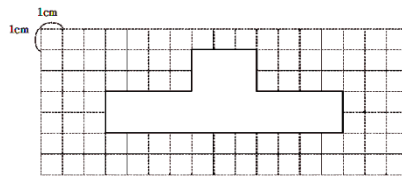
$4 + 2 = 6$
 $6 \times 3 = 18$
答え 18 cm^2

- 考え方で共通しているところがありますか。
- ・線を入れて2つの長方形にしている
 - ・①以外全部長方形にして考えている。

まとめ

()のような図形も長方形を元にして考えれば、面積を求めることができる。

○どの方法を使いますか。

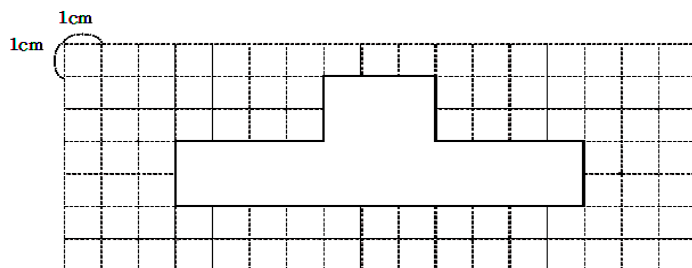


・児童の言葉でまとめさせる。

・児童の考えはT2が板書する。

(3) 適用問題

下のような形の面積を、いろいろな方法で求めましょう。



(4) 授業を終えて

教科書では十字型の面積を求める問題であったが変更した。

- 本時の目標を達成するためにはよい適用問題であったのではないか。
- 授業の内容がそのまま使える適用問題だったので、児童は意欲的に取り組んでいた。
- 適用問題は児童の実態に合わせて1問でも2問でもよい。時間があれば選択させて解かせてもよい。
- 考えをつかむにはマス目のある方がよいが、実際の力をつけるためにはマス目無しの方がよい。これからプリントや清水タイムで扱い補っていく。
- 大きな長方形からない部分の四角形を引くなど、多様な考え方が出るような適用問題がよかったのではないか。